奈良工業高等専門学校	グローバル工学協働教育プログラム(GECEP)（アドバンストコース）	開講年度	令和03年度 (2021年度)

学科到達目標

科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数								担当教員	履修上の区分
						専1年				専2年					
						前		後		前		後			
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
一般	選択	アドバンスト・グローバルコミュニケーション	0001	学修単位	2	2								朴 槿英	
一般	選択	海外インターンシップ	0002	履修単位	2	集中講義								直江 一光,朴 槿英	
一般	選択	アドバンスト・グローバルエンジニアスキル	0003	学修単位	2			2						Leigh McDowell	
一般	選択	アドバンスト・グローバルチャレンジ	0004	学修単位	2	集中講義								朴 槿英	
一般	選択	アドバンスト・グローバルコミュニケーション	0005	学修単位	2					2				朴 槿英	
一般	選択	海外インターンシップ	0006	履修単位	2					集中講義				直江 一光,朴 槿英	
一般	選択	アドバンスト・グローバルエンジニアスキル	0007	学修単位	2							2		Leigh McDowell	

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	アドバンスト・グローバルコミュニケーション

科目基礎情報

科目番号	0001	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP)（アドバンストコース）	対象学年	専1
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	ABC World News 20 / 山根繁 他 / KINSEIDO		
担当教員	朴 槿英		

到達目標

This lecture encourages students to understand the world news and to express their thoughts related to various global social issues as well as to develop professional skills needed to discuss in English.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
ディクテーション・スキル	英語ニュース(必要語彙数約8000語)を聞き、英文を正しく書き取ることができる。	英語ニュース(必要語彙数約8000語)を聞き、英文をある程度書き取ることができる。	英語ニュース(必要語彙数約8000語)を聞き、英文を書き取ることができない。
リーディング・スキル	実用的な内容の英文(必要語彙数約8000語)を読み、内容を正確に理解できる。	実用的な内容の英文(必要語彙数約8000語)を読み、内容をある程度理解できる。	実用的な内容の英文(必要語彙数約8000語)を読み、内容を理解することが困難である。
ライティング, ディスカッション・スキル	意見を論理的に説明する英文を書き、流暢に話すことができる。	意見を論理的に説明する英文を書き、ある程度話すことができる。	意見を論理的に説明する英文を書き、話すことができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	This lecture aims that students will deepen understanding of recent world news in English in order to acquire the skills of dictation, reading and discussion as well as to develop the way of thinking required to be a global engineer.
授業の進め方・方法	This lecture focuses to foster the advanced language ability for understanding modern society through the various practices in the classes. The contents and schedule are as shown below.
注意点	Students are required to review the assigned part of handouts for each class and to practice listening and writing a short speech about current social issues. 学習指針：グローバル社会の様々な話題に対する幅広い知識と柔軟な理解力が求められる。 関連科目：特修英語Ⅰ、特修英語Ⅱ、アドバンスト・グローバルチャレンジ 自己学習（事前学習および事後展開学習） 事前学習：英語ネイティブ国の生ニュースを中心に反復的なリスニングプラクティスを行うこと。授業中に用いられるニュースを理解するために必要な情報も事前に調べること。 事後展開学習：授業で学んだ内容を適確に理解し、様々な意見を英語で表現できるようにすること。 グローバルなビジネス社会において必要とされる英語プレゼンテーション資料の作成と練習を行うこと。 本科目の到達目標に向けて、グローバルな社会の話題を理解することと、各自の意見を英語でまとめることが求められます。テキストで用いる英語ニュースが聞き取れるまで十分なリスニングとディクテーション訓練を行うこと、そして、与えられた話題に関する英語プレゼンテーションを行うため、積極的な学習取組が大切です。

学修単位の履修上の注意

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	Class Introduction	学習目標と内容、評価方法について理解する。生英語のディクテーションの練習ができる。
		2週	World News 1: Dictation Practice & Assignment Test	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
		3週	World News 2: Dictation Practice & Assignment Test	ニュース内容について情報収集し、1分程度のショートスピーチを英語で作成することができる。
		4週	Reading Comprehension Q&A, Writing Practice	Assignment Unit 1, 2を行い、課題を提出する。
		5週	World News 3: Dictation Practice & Assignment Test	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
		6週	World News 4: Dictation Practice & Assignment Test	ニュース内容について情報収集し、1分程度のショートスピーチを英語で作成することができる。
		7週	Reading Comprehension Q&A, Writing Practice	Assignment Unit 3, 4を行い、課題を提出する。
		8週	World News 5: Dictation Practice & Assignment Test	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
	2ndQ	9週	World News 6: Dictation Practice & Assignment Test	ニュース内容について情報収集し、1分程度のショートスピーチを英語で作成することができる。
		10週	Reading Comprehension Q&A, Writing Practice	Assignment Unit 5, 6を行い、課題を提出する。
		11週	World News 7: Dictation Practice & Assignment Test	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
		12週	World News 8: Dictation Practice & Assignment Test	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
		13週	World News 9: Dictation Practice & Assignment Test	ニュース内容について情報収集し、1分程度のショートスピーチを英語で作成することができる。

		14週	World News 10: Dictation Practice & Assignment Test	Assignment Unit 7~10を行い、課題を提出する。
		15週	Final Writing Exam	期末Writingテストにおける英文質疑応答ができる。
		16週	Review	Finalizing & Evaluation

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	Final Exam & Reports	Weekly Assignment Tests	Class Participation	合計
総合評価割合	50	40	10	100
基礎的能力	50	40	10	100

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	海外インターンシップ

科目基礎情報

科目番号	0002	科目区分	一般 / 選択
授業形態	実習	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP)（アドバンストコース）	対象学年	専1
開設期	集中	週時間数	
教科書/教材	Original Handouts / 本校で実施している，国際交流等の報告会発表が参考となる。		
担当教員	直江 一光,朴 槿英		

到達目標

1. 技術者としての心構えや社会人として何が必要かを学ぶこと。
2. グローバル時代に生きる社会人として、異文化理解を通して自主性、創造性及び柔軟性の大切さを学ぶこと。
3. グローバル技術者の基本的な素養として何が必要かを学ぶこと。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1 技術者としての心構えと社会性	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを説明できる。	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを自覚している。	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを自覚していな。
評価項目2 異文化理解力	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを説明できる。	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを自覚している。	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを自覚していない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	海外の企業・大学その他の公的機関等において実習ないしは研究体験をすることにより、グローバル技術者としてのキャリア体験を積むとともに、異文化理解力を深める。
授業の進め方・方法	海外インターンシップのテーマと内容については、本校グローバル教育センターと実習先機関が協議して定める。ただし、実習先機関においてあらかじめ用意されたテーマ及び内容を実務体験することもある。
注意点	修了証書と実習に参加した学生が作成する海外インターンシップ報告書の提出、さらに校内で実施する帰国報告会での発表をもって履修条件とする。実習中は安全に留意するとともに、保険への加入を義務付ける。 関連科目・学習指針・自己学習 海外協定校主催の海外派遣に対する事前準備（研修内容の習得のために必要な英語能力および派遣国に関する基礎知識を身に備えるなど、積極的な準備活動が必要である。 学習指針：工学・技術の分野の海外いんあ研修だけでなく，文化について学ぶ積極的な姿勢が求められる。 関連科目：専門科目の中、海外インターンシップの研究分野に関連する科目、英語に関連する科目 自己学習（事前学習および事後展開学習） 事前学習としては、海外研修で求められる英語コミュニケーション能力を身に着けるためのリスニング、スピーキング練習をすること。海外派遣国に関する基礎知識を事前に習得すること。 事後展開学習としては、海外研修を通じて学んだ知識に関する英文報告書を作成すること。 実習中の体験を日誌に記録し、報告者作成時の資料とする。実習先の技術者、指導教員、バディ学生との積極的な交流を通して、グローバル感覚とともに、技術者として必要な英語コミュニケーション力を養うこと。

学修単位の履修上の注意

授業の属性・履修上の区分

☑ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	１．実施期間 10日間以上にわたり、合計80時間以上従事 ２．学外実習先 本校が認めた海外企業の生産研究部門等及び大学その他公的教育機関 ３．スケジュール （１）海外インターンシップ・ガイダンス ・概要説明 ・海外受入機関の紹介と実習内容の説明 ・安全教育 ・研修テーマのマッチング （２）事前研修 ・海外インターンシップの心構えと異文化理解に関する事前学習 ・国際交流報告会への出席 （３）実習 ・実習先でのオリエンテーション ・実習 ・文化交流 ・日誌の作成 （４）海外インターンシップのまとめ ・報告書の作成、帰国報告会でのプレゼンテーション 〔参考〕 これまでの主な実習先 ナンヤン・ポリテクニク（シンガポール）、香港IVE（香港）、国立勤益科技大学（台湾）等	１．技術者としての心構えや社会人として何が必要かを学ぶこと。 ２．グローバル時代に生きる社会人として、異文化理解を通して自主性、創造性及び柔軟性の大切さを学ぶこと。 ３．グローバル技術者の基本的な素養として何が必要かを学ぶこと。
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		

		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	報告書	実習報告	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	50	50	100

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	アドバンスト・グローバルエンジニアスキル

科目基礎情報

科目番号	0003	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP)（アドバンストコース）	対象学年	専1
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	Alex Raynham (著) Future Energy		
担当教員	Leigh McDowell		

到達目標

This subject aims to develop specialised English skills for globally active engineers (i.e., reading, writing, and presenting research).

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	Demonstrated advanced writing skills	Demonstrated intermediate writing skills	Demonstrated lack of basic writing skills
評価項目2	Demonstrated advanced presentation skills	Demonstrated intermediate presentation skills	Demonstrated lack of basic presentation skills
評価項目3	Demonstrated exceptional participation	Demonstrated good participation	Demonstrated low participation

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	In order to develop practical English speaking and listening skills, this subject is taught all in English, and students are expected to use English as much as possible
授業の進め方・方法	This subject is taught all in English, and students are expected to use English. Students practice and learn English discussion skills based around the topic of future energy. The subject includes learning through the lecture and practice to acquire presentation skills. Active participation is required.
注意点	

学修単位の履修上の注意

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	Lesson1: Energy today	Understand the contents of Lesson 1 and discuss them in English.
		2週	Lesson2: Fossil fuels	Understand the contents of Lesson 2 and discuss them in English.
		3週	Lesson3: Energy and our planet	Understand the contents of Lesson 3 and discuss them in English.
		4週	Lesson4: Saving energy	Understand the contents of Lesson 4 and discuss them in English.
		5週	Lesson5: The power of the atom	Understand the contents of Lesson 5 and discuss them in English.
		6週	Lesson6: Super fuels	Understand the contents of Lesson 6 and discuss them in English.
		7週	Lesson7: A bright future	Understand the contents of Lesson 7 and discuss them in English.
		8週	Lesson8: When the wind blows	Understand the contents of Lesson 8 and discuss them in English.
	4thQ	9週	Lesson9: Water world	Understand the contents of Lesson 9 and discuss them in English.
		10週	Lesson10: Heat all around us	Understand the contents of Lesson 10 and discuss them in English.
		11週	Lesson11: People power	Understand the contents of Lesson 11 and discuss them in English.
		12週	Lesson12: Nano power	Understand the contents of Lesson 12 and discuss them in English.
		13週	Lesson13: Energy in space	Understand the contents of Lesson 13 and discuss them in English.
		14週	Lesson14: Going local	Understand the contents of Lesson 14 and discuss them in English.
		15週	Lesson15: Where next?	Understand the contents of Lesson 15 and discuss them in English.
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	Presentation	Class Participation (Assignment)	合計

総合評価割合	20	80	100
基礎的能力	20	80	100

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	アドバンスト・グローバルチャレンジ

科目基礎情報

科目番号	0004	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP)（アドバンストコース）	対象学年	専1
開設期	集中	週時間数	
教科書/教材	Original Handouts		
担当教員	朴 槿英		

到達目標

英語による国際学会での発表を目標とし、この目標を達成するために必要とされる高度な英語運用能力の獲得を目指すとともに、他者と協働し積極的にディベートを行いながら発表に向けた準備活動を進めることで、英語によるプレゼンテーションの全体的なパフォーマンス向上を目指す。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
英語運用能力	国際学会での発表に不可欠な高度な英語運用能力を身につけている。	国際学会での発表を行いうるある程度の英語運用能力を身につけている。	国際学会での発表に必要な最低限の英語運用能力が身についていない。
グローバル・コミュニケーション力	英語を使って他者と積極的にディベートを行いながら、協働して作業を行うことができる。	他者と協働して作業を行うために必要なある程度の英語コミュニケーション力が身についている。	他者と協働して作業を行うために必要な英語コミュニケーション力が十分に身についていない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	英語による国際学会での発表を行うための準備と基本的なルールについて学習する。また、受講者同士の相互評価を通じて、英語プレゼンテーションのパフォーマンス向上を目指す。
授業の進め方・方法	国際学会等での発表に必要な英語運用能力を向上させるための活動として、英語によるプレゼンテーションとディスカッションを行うプロジェクト型学習と科学技術分野を扱う英文テキストの読解、および英文アブストラクトの作成を行う。 なお、本科目は、「グローバル工学協働教育プログラム」の科目と一部として実施する。
注意点	国際学会・フォーラム・セミナーなどの国際的なイベントにおける実践活動（英語での口頭あるいはポスター発表をすることが望ましい。オンライン国際学会可）および単位を履修するための十分な英語運用能力が求められる。 国際学会などにおける実践活動のために必要な英語コミュニケーションズ能力を身に備えるため、積極的な英語学習が必要となる。 学習指針：国際学会等で通用する実践的な英語コミュニケーション能力が求められる。 関連科目：特修英語Ⅰ、特修英語Ⅱ、アドバンスト・グローバルコミュニケーション 自己学習（事前学習および事後展開学習） 事前学習：国際学会の動画を中心に事前リスニングプラクティスを行うこと。学会で用いられるキーワードに基づいて積極的に学習に取り組むこと。 事後展開学習：国際学会等における実践活動について英文報告書を作成すること。関連内容について英語ディスカッションできる十分な知識を備えること。

学修単位の履修上の注意

本科目の到達目標に向けて、国際学会で行われる専門分野の技術プレゼンテーションおよびディスカッションができる高度な英語運用能力を養うため、実際に国際学会に参加し、経験を蓄積する積極的な活動が求められる。

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週	英文ガイダンス	授業全体の計画、目標などに関する英文ガイダンスが理解できる。
		2週	STEM関連（オンライン）国際学会に聴講者として参加 英論文検索・発表申込できる国際学会の検索＆申し込み	英語による国際学会に聴講者として参加し、学習した内容について英文報告書を作成できる。

		3週	第１回目英語プレゼンテーションの準備	卒業研究について英語でプレゼンテーションを行うための準備をする。
		4週	プレゼンテーション（１回目）	卒業研究について英語でプレゼンテーションを行う。また、受講者同士の相互評価を通じて課題を発見する。
		5週	英文アブストラクトの作成①	現在の研究内容について英文のアブストラクトを作成する。
		6週	英文アブストラクトの作成②	受講者同士でディスカッションを行い、問題点を抽出する。
		7週	英文アブストラクトの作成③	ディスカッションの内容をもとに加筆・修正を行い、英文アブストラクトを完成させる。
		8週	第２回目英語プレゼンテーションの準備①	現在の研究内容について英語でプレゼンテーションを行うための準備を行う。
	4thQ	9週	第２回目英語プレゼンテーションの準備②	現在の研究内容について英語でプレゼンテーションを行うための準備をする。
		10週	モデルプレゼンテーション	国際学会で発表済みまたは発表予定の研究内容について、モデルプレゼンテーションを行う。また、Q&Aセッションを設け、国際学会で実際に行われる質疑応答の練習をする。
		11週	原稿作成①	国際学会発表用の読み原稿を作成する。
		12週	原稿作成②	英語表現・語彙などの添削を受け、完成度を高める。
		13週	原稿作成③	ディスカッションの内容をふまえ加筆・修正を行い、原稿を完成させる。
		14週	最終プレゼンテーションの準備	アブストラクトと原稿の内容をもとに、最終プレゼンテーションの準備を行う。
		15週	プレゼンテーション（最終）	国際学会での発表リハーサルとして、最終プレゼンテーションを行う。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	実践活動報告（英論文・英語プレゼン）	報告書の完成度	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	80	20	100

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	アドバンスト・グローバルコミュニケーション

科目基礎情報

科目番号	0005	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP)（アドバンストコース）	対象学年	専2
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	ABC World News 20 / 山根繁 他 / KINSEIDO		
担当教員	朴 槿英		

到達目標

This lecture encourages students to understand the world news and to express their thoughts related to various global social issues as well as to develop professional skills needed to discuss in English.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
ディクテーション・スキル	英語ニュース(必要語彙数約8000語)を聞き、英文を正しく書き取ることができる。	英語ニュース(必要語彙数約8000語)を聞き、英文をある程度書き取ることができる。	英語ニュース(必要語彙数約8000語)を聞き、英文を書き取ることができない。
リーディング・スキル	実用的な内容の英文(必要語彙数約8000語)を読み、内容を正確に理解できる。	実用的な内容の英文(必要語彙数約8000語)を読み、内容をある程度理解できる。	実用的な内容の英文(必要語彙数約8000語)を読み、内容を理解することが困難である。
ライティング, ディスカッション・スキル	意見を論理的に説明する英文を書き、流暢に話すことができる。	意見を論理的に説明する英文を書き、ある程度話すことができる。	意見を論理的に説明する英文を書き、話すことができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	This lecture aims that students will deepen understanding of recent world news in English in order to acquire the skills of dictation, reading and discussion as well as to develop the way of thinking required to be a global engineer.
授業の進め方・方法	This lecture focuses to foster the advanced language ability for understanding modern society through the various practices in the classes. The contents and schedule are as shown below.
注意点	Students are required to review the assigned part of handouts for each class and to practice listening and writing a short speech about current social issues. 学習指針：グローバル社会の様々な話題に対する幅広い知識と柔軟な理解力が求められる。 関連科目：特修英語Ⅰ、特修英語Ⅱ、アドバンスト・グローバルチャレンジ 自己学習（事前学習および事後展開学習） 事前学習：英語ネイティブ国の生ニュースを中心に反復的なリスニングプラクティスを行うこと。授業中に用いられるニュースを理解するために必要な情報も事前に調べること。 事後展開学習：授業で学んだ内容を適確に理解し、様々な意見を英語で表現できるようにすること。 グローバルなビジネス社会において必要とされる英語プレゼンテーション資料の作成と練習を行うこと。 本科目の到達目標に向けて、グローバルな社会の話題を理解することと、各自の意見を英語でまとめることが求められます。テキストで用いる英語ニュースが聞き取れるまで十分なリスニングとディクテーション訓練を行うこと、そして、与えられた話題に関する英語プレゼンテーションを行うため、積極的な学習取組が大切です。

学修単位の履修上の注意

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	Class Introduction	学習目標と内容、評価方法について理解する。生英語のディクテーションの練習ができる。
		2週	World News 1: Dictation Practice & Assignment Test	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
		3週	World News 2: Dictation Practice & Assignment Test	ニュース内容について情報収集し、1分程度のショートスピーチを英語で作成することができる。
		4週	Reading Comprehension Q&A, Writing Practice	Assignment Unit 1, 2を行い、課題を提出する。
		5週	World News 3: Dictation Practice & Assignment Test	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
		6週	World News 4: Dictation Practice & Assignment Test	ニュース内容について情報収集し、1分程度のショートスピーチを英語で作成することができる。
		7週	Reading Comprehension Q&A, Writing Practice	Assignment Unit 3, 4を行い、課題を提出する。
		8週	World News 5: Dictation Practice & Assignment Test	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
	2ndQ	9週	World News 6: Dictation Practice & Assignment Test	ニュース内容について情報収集し、1分程度のショートスピーチを英語で作成することができる。
		10週	Reading Comprehension Q&A, Writing Practice	Assignment Unit 5, 6を行い、課題を提出する。
		11週	World News 7: Dictation Practice & Assignment Test	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
		12週	World News 8: Dictation Practice & Assignment Test	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
		13週	World News 9: Dictation Practice & Assignment Test	ニュース内容について情報収集し、1分程度のショートスピーチを英語で作成することができる。

		14週	World News 10: Dictation Practice & Assignment Test	Assignment Unit 7~10を行い、課題を提出する。
		15週	Final Writing Exam	期末Writingテストにおける英文質疑応答ができる。
		16週	Review	Finalizing & Evaluation

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	Final Exam & Reports	Weekly Assignment Tests	Class Participation	合計
総合評価割合	50	40	10	100
基礎的能力	50	40	10	100

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	海外インターンシップ

科目基礎情報

科目番号	0006	科目区分	一般 / 選択
授業形態	実習	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP)（アドバンストコース）	対象学年	専2
開設期	集中	週時間数	
教科書/教材	Original Handouts / 本校で実施している，国際交流等の報告会発表が参考となる。		
担当教員	直江 一光,朴 槿英		

到達目標

1. 技術者としての心構えや社会人として何が必要かを学ぶこと。
2. グローバル時代に生きる社会人として、異文化理解を通して自主性、創造性及び柔軟性の大切さを学ぶこと。
3. グローバル技術者の基本的な素養として何が必要かを学ぶこと。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1 技術者としての心構えと社会性	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを説明できる。	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを自覚している。	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを自覚していな。
評価項目2 異文化理解力	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを説明できる。	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを自覚している。	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを自覚していない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	海外の企業・大学その他の公的機関等において実習ないしは研究体験をすることにより、グローバル技術者としてのキャリア体験を積むとともに、異文化理解力を深める。
授業の進め方・方法	海外インターンシップのテーマと内容については、本校グローバル教育センターと実習先機関が協議して定める。ただし、実習先機関においてあらかじめ用意されたテーマ及び内容を実務体験することもある。
注意点	修了証書と実習に参加した学生が作成する海外インターンシップ報告書の提出、さらに校内で実施する帰国報告会での発表をもって履修条件とする。実習中は安全に留意するとともに、保険への加入を義務付ける。 関連科目・学習指針・自己学習 海外協定校主催の海外派遣に対する事前準備（研修内容の習得のために必要な英語能力および派遣国に関する基礎知識を身に備えるなど、積極的な準備活動が必要である。 学習指針：工学・技術の分野の海外いんあ研修だけでなく，文化について学ぶ積極的な姿勢が求められる。 関連科目：専門科目の中、海外インターンシップの研究分野に関連する科目、英語に関連する科目 自己学習（事前学習および事後展開学習） 事前学習としては、海外研修で求められる英語コミュニケーション能力を身に着けるためのリスニング、スピーキング練習をすること。海外派遣国に関する基礎知識を事前に習得すること。 事後展開学習としては、海外研修を通じて学んだ知識に関する英文報告書を作成すること。 実習中の体験を日誌に記録し、報告者作成時の資料とする。実習先の技術者、指導教員、バディ学生との積極的な交流を通して、グローバル感覚とともに、技術者として必要な英語コミュニケーション力を養うこと。

学修単位の履修上の注意

授業の属性・履修上の区分

☑ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	１．実施期間 10日間以上にわたり、合計80時間以上従事 ２．学外実習先 本校が認めた海外企業の生産研究部門等及び大学その他公的教育機関 ３．スケジュール （１）海外インターンシップ・ガイダンス ・概要説明 ・海外受入機関の紹介と実習内容の説明 ・安全教育 ・研修テーマのマッチング （２）事前研修 ・海外インターンシップの心構えと異文化理解に関する事前学習 ・国際交流報告会への出席 （３）実習 ・実習先でのオリエンテーション ・実習 ・文化交流 ・日誌の作成 （４）海外インターンシップのまとめ ・報告書の作成、帰国報告会でのプレゼンテーション 〔参考〕 これまでの主な実習先 ナンヤン・ポリテクニク（シンガポール）、香港IVE（香港）、国立勤益科技大学（台湾）等	１．技術者としての心構えや社会人として何が必要かを学ぶこと。 ２．グローバル時代に生きる社会人として、異文化理解を通して自主性、創造性及び柔軟性の大切さを学ぶこと。 ３．グローバル技術者の基本的な素養として何が必要かを学ぶこと。
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		

		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	報告書	実習報告	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	50	50	100

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	アドバンスト・グローバルエンジニアスキル

科目基礎情報

科目番号	0007	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP)（アドバンストコース）	対象学年	専2
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	Alex Raynham (著) Future Energy		
担当教員	Leigh McDowell		

到達目標

This subject aims to develop specialized English skills for globally active engineers (i.e., reading, writing, and presenting research)

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	Demonstrated advanced writing skills	Demonstrated intermediate writing skills	Demonstrated lack of basic writing skills
評価項目2	Demonstrated advanced presentation skills	Demonstrated intermediate presentation skills	Demonstrated lack of basic presentation skills
評価項目3	Demonstrated exceptional participation	Demonstrated good participation	Demonstrated low participation

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	In order to develop practical English speaking and listening skills, this subject is taught all in English, and students are expected to use English as much as possible.
授業の進め方・方法	This subject is taught all in English, and students are expected to use English. Students practice and learn English discussion skills based around the topic of future energy. The subject includes learning through the lecture and practice to acquire presentation skills. Active participation is required.
注意点	

学修単位の履修上の注意

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	Lesson1: Energy today	Understand the contents of Lesson 1 and discuss them in English.
		2週	Lesson2: Fossil fuels	Understand the contents of Lesson 2 and discuss them in English.
		3週	Lesson3: Energy and our planet	Understand the contents of Lesson 3 and discuss them in English.
		4週	Lesson4: Saving energy	Understand the contents of Lesson 4 and discuss them in English.
		5週	Lesson5: The power of the atom	Understand the contents of Lesson 5 and discuss them in English.
		6週	Lesson6: Super fuels	Understand the contents of Lesson 6 and discuss them in English.
		7週	Lesson7: A bright future	Understand the contents of Lesson 7 and discuss them in English.
		8週	Lesson8: When the wind blows	Understand the contents of Lesson 8 and discuss them in English.
	4thQ	9週	Lesson9: Water world	Understand the contents of Lesson 9 and discuss them in English.
		10週	Lesson10: Heat all around us	Understand the contents of Lesson 10 and discuss them in English.
		11週	Lesson11: People power	Understand the contents of Lesson 11 and discuss them in English.
		12週	Lesson12: Nano power	Understand the contents of Lesson 12 and discuss them in English.
		13週	Lesson13: Energy in space	Understand the contents of Lesson 13 and discuss them in English.
		14週	Lesson14: Going local	Understand the contents of Lesson 14 and discuss them in English.
		15週	Lesson15: Where next?	Understand the contents of Lesson 15 and discuss them in English.
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	Presentation	Class Participation (Assignment)	合計

総合評価割合	20	80	100
基礎的能力	20	80	100